

展覧会企画トークイベント
くまもとアートポリス建築展×熊本市現代美術館

「これからの公共建築、 災害時のアートインフラ を考える」

出演

日比野克彦
曾我部昌史

(熊本市現代美術館 館長)

(くまもとアートポリスアドバイザー)

くまもとアートポリス
巡回展
みんなの家、
後世へつなぐ復興

入場無料

日時

11/27 (土) 13:00 - 14:00

場所

熊本市現代美術館 (ホームギャラリー)

料金

無料 * 事前申込制

定員

最大 50 名程度

自然災害からの創造的復興、心の復興において、アートや建築が果たす役割についてトークします。

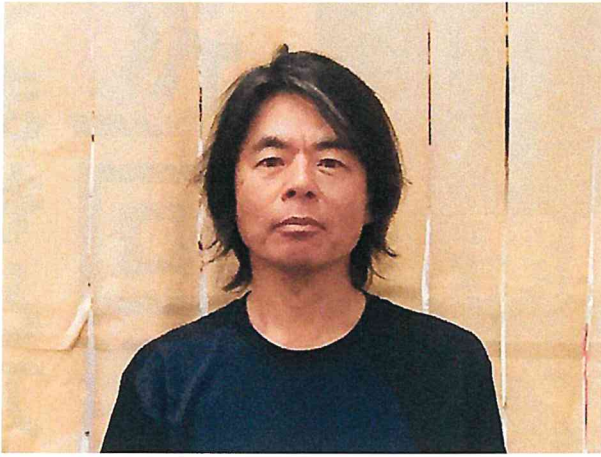
申込方法

熊本市現代美術館へ電話 096-278-7500 かメール gamadas@camk.or.jp で、
①参加希望のイベント名 ②お名前 ③電話番号をあわせてお申込ください。

配信

当日同時間にライブ配信も行います。
QRコードからアクセスください。

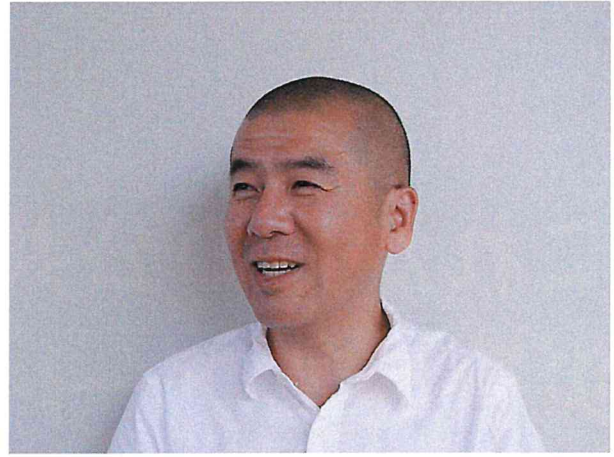




日比野克彦

(アーティスト／熊本市現代美術館館長)

1958年、岐阜県生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科修士課程デザイン専攻修了。大学在学中に段ボールを用いた作品で注目を浴び、近年は、各地で一般参加者とその地域の特性や関係性、人々の違いを生かしたアートプロジェクトやワークショップを数多く行っている。東日本大震災時には、「自分も何かできないだろうか?」という思いを抱えた多くの人と、ハートのパッチワークをつくり、それらを繋ぎ合わせてタペストリーにして東北に届ける「ハートマークビューイング」を行った。現在、東京芸術大学美術学部長・先端芸術表現科教授、岐阜県美術館長、日本サッカー協会社会貢献委員会委員長等を務める。



曾我部昌史

(建築家／くまもとアートポリスアドバイザー)

1962年、福岡県生まれ。東京工業大学大学院修士課程修了。1995年みかんぐみ共同設立。東京芸術大学美術学部先端芸術表現科助教授(2001-2006)を経て、現在、神奈川大学工学部建築学科教授。設計だけでなく、ワークショップの企画運営や評論の執筆、アートプロジェクトなど、多彩な活動を展開する。主な作品に、「NHK長野放送会館」(1997年)、「八代市立高田あけぼの保育園」(2001年)、「2005年日本国際博覧会トヨタグループ館」(2005年)、「マーチエキュート神田万世橋(万世橋高架下開発)」(2013年)、「モトツパチ | moto. 8」(2019年)、「奥会津水力館みお里」(2020年)など。

新型コロナウイルス感染拡大の状況によって、イベントが中止、変更になる場合があります。詳しくはホームページ・SNSでご確認下さい。

